



初聖体の祝いの中の、りくくん・さやかさん・みくさん

島のひかり ホームページアドレス

<http://lifeaidgoto.jp.cx/simanohikari/>



発行

カトリック浦頭教会  
広報委員会  
五島市平蔵町2716  
TEL 0959-730072  
印刷・(株)才津印刷所

## あなたの道具は

— 祈りです。

主任司祭 眞浦 健吾

私の郷里の大先輩であった島本大司教様がよく「大工は大工をしながら大工になっていく」と言う話をしながら、司祭、シスター、信徒もそれぞれの自分の立場をわきまえた上で、自分の出来ることを自分なりに果たしていけば、司祭らしくシスターらしく、信徒らしくなっていくので、その努力を怠らないようにしなさいと、教諭しながら説教されてきました。今年3月、平和のバラ保育園の卒園式、奥浦小、中学校の卒業式に行く機会がありました。今年卒園する園児たちは私が浦頭に赴任してきた時は2歳児で、クリスマス会では曲がかかっても踊ろうともせず、何もしないで立っただけ、回りをハラハラさせていた子供たちでしたが、その時はしっかりと自分の将来の夢を語って

いました。小学校、中学校でもそうでした。それぞれが「将来の夢は〇〇です」と胸を張り、声高らかに夢を語っていました。みんなの前で語ったその夢を実現していけるように努力してください。その夢が将来叶うといいですね。

大工が大工になって、まずすることは、自分の大切な大工道具をみつけ、その道具を使いこなせるように努力すると思います。どうぞ自分の生きていくための道具を見つけてください。そしてそれを使いこなせるように、努力してください。

私たち信者の道具は、何でしょうか。それは祈りだと思えます。いつでも、どんな時でも、神様への祈りを、つまり、賛美、礼拝、感謝、願いの祈りを忘れず、短い祈りでも日々神様に対して捧げることが出来るように、祈りの道具を身につけてください。

# 小教区信徒総会

四月十八日、二番ミサ終了後、聖堂内に於いて、平成22年度、信徒総会が開催された。

総会議長、鍋内誠次（評議会副議長）の進行に従って会は進められた。先ず二〇〇九年度、年間行事経過が報告された。続いて、収支決算報告、監査報告、堂崎天主堂資料館損益計算書、二〇一〇年度年間行事予定案を報告し、すべて承認され盛会の内に終わることが出来た。

その他に上五島江袋教会の落成を機会に、六月五日〜六日を利用して巡礼旅行を企画。

小教区創設45周年を四年後、教会献堂45周年は三年後と言う事で、記念事業として教会トイレの水洗化が計画された。それに伴い小教区信徒に積み立てをお願いしたいとの事で、今年九月頃より地区集会を開いて、説明させていただくことを確認した。

# 婦人会からのお知らせ

いつも、婦人会活動のご協力ありがとうございます。

古布を集めています。  
 タオル・バスタオル・シーツ・Tシャツ・肌着・トレーナー  
 など・吸収性の良い布

介護時の使い捨て用として利用します。いつも、不足ぎみになるとの事です。使い古しのタオル類、衣類など、しみ、キズありでも良いので、一年を通して集めたいと思います。

婦人会員以外の参加も大歓迎です。浦頭教会の入口に、箱を用意しますので、皆様のご協力よろしくお願い致します。

## お詫び

182号でタイトル公演と書かれていたのを訂正いたします。

公 → 講  
 (誤) (正)

## 平成22年度 浦頭小教区評議会役員名簿



評議会会長(主任司祭)

眞 浦 健 吾

信仰教育委員会

委員長 川口 孝 護章  
 副委員長 川口 健 野  
 会計 赤尾 健 沼田百合枝  
 委員(サポート) 小学校 浦口 一三  
 中学校

修道院長 Sr竹口菊美  
 カテキスタ Sr松崎 (小1、2年)  
 Sr藤原 (小3、4年)  
 Sr白浜 (小5、6年)

眞浦神父様 堅信組 (中1)

議長 竹山 要 司次也 美光  
 副議長 鍋内 誠 哲成 利  
 書記 小田 上 口  
 会計 富木 口

地区委員会  
 委員長 浜口 信行 赤尾 八千代  
 会計 小田 敏昭 荒木 美代子  
 (地区委員) (補佐)

浦頭 赤尾 淳 赤尾 八千代  
 木口 和雄 荒木 美代子  
 大泊 小田 敏昭 (会計) 梅木 強  
 浜口 信行 江口 初子  
 嶮崎 入口 剛 浦 エミ子  
 嵯峨瀬 谷口 英子  
 宮原 大楠 進 大楠 末子  
 半泊 濱崎 孝信

経済問題委員会  
 (堂崎天主堂保存委員会)  
 赤尾 一 美光  
 木口 利 次市  
 鍋内 誠 洋  
 小田 田

典礼委員会

委員長 本村 義則  
 副委員長 小田 哲也  
 委員 鍋内 孝 山本 一夫  
 浜崎 和利 浦口 一三 川口 嘉久  
 入口 明宏 浜口 幸隆 川口 秀子  
 赤尾 克子 富上 成美 江口 初子  
 (聖歌担当 浜崎 松一)

壮年会  
 会長 赤尾 保夫 隆  
 副会長 鍋内 文 幸  
 書記 浜口 幸

シメオン・アンナ友の会  
 会長 鍋内 義 光 進  
 書記 富上

青年会  
 会長 入口 信樹 美  
 副会長 竹山 直 成  
 書記 富上

婦人会  
 会長 川口 眞佐代  
 副会長 吉川 春子  
 書記 中村 タマエ  
 <下五島連合婦人会>  
 会計 谷 尾 ミツヨ

広報委員会

委員長 竹山 要司  
 副委員長(島のひかり編集長) 木口 重憲  
 会計 赤尾 淳  
 委員 木口 武雄 竹山 巧  
 浜崎クニ子 江口 初子

# 今年の黙想会

黙想会の時節となり、今年は長崎・中町教会の助任であられる谷脇誠一郎神父様を講師にお招きして、三月九日より三日間の日程で行なわれた。

今回の黙想会は、講話の前後に祈りに変えて沈黙の時間を二日間。これが特徴でした。

最終日に谷脇神父への感謝式で終了しました。謝礼と花束贈呈を婦人会より、感謝の言葉を典礼委員長より述べていただきました。



谷脇神父様お疲れさまでした

## 感謝の言葉

本村 義則

谷脇神父さま、三日間の午前と午後の黙想のご指導くださいましたこと心より感謝いたします。おつかれさまでした。

神父さまの体験や聖人の話などを交えながらの沢山のお話でしたが、心も、理解力も貧しい私も理解できることが二つありました。ひとつは、「沈黙」、このせわしい、情報などの多い世の中において、沈黙をすることによって、イエス様のことばをきく、イエス様とお話をする、おいのりをする事の大切さ、沈黙は「福音」、つまりグッドニュース、今も生きている、生きつづけている福音、を聞くことです。と、お話の始め沈黙の時間をとって実践して教えていただきましたので、私でも沈黙の時を持つことは出来るので実行します。二つめは、共同祭司職についてです。典礼奉仕等、侍者や朗



読奉仕等の役割は当然ですが、ミサに参加して共に行動すること、信仰を伝えることも共通祭司職にあたるということですから、ここに集う私たちは、神様から沢山のお恵みとタレントをいただいていますので、神父さまのお話を行

動を起こすスタートスイッチとして、今日から日々成長と進化をつづけて、共通祭司職を実践できるものと強く信じています。機会がありますなら、又おいでいただきまして私たちの努力を視ていただければ幸いです。三月月としては希なこの寒さのなかに三日間も黙想の指導をしていただきとても感謝しております。これからの谷脇神父さまのご健康とご活躍と沢山のお恵みをお祈りいたします。言葉足らずではございますが感謝の言葉といたします。ありがとうございます。

秘

跡

〔洗礼〕

平成22年3月20日

アグネス 近藤 凜 (東長崎)

父 辰政・母 和代

〔結婚〕

平成22年1月30日

山里 敏一

ベルナデッタ 浜口智代美 (浜泊)

父 幸雄・母 スエミ

〔永眠〕

平成22年1月16日

パウロ 入口権次郎 (堂崎) 96才

平成22年4月12日

マリア 川口シズ子 (浦頭) 75才

平成22年4月23日

マリア・マグダレナ 鍋内 キク

(浦頭) 95才

〔修道院人事異動〕

転出 ありがとうございます。

Sr山本佐記子 (西木場修道院)

Sr浦 妙子 (長崎中町教会)

Sr橋口 栄 (出津 帰省)

転入 よろしくお願ひします。

Sr古田 清子 (福江修道院)

Sr田川 文子 (浦上サンタマリアの家)

Sr竹口 菊美 (三井楽修道院)

奥浦修道院長 Sr竹口 菊美



# “叙階の門出”

## 中尾司祭誕生

2月21日浦上教会での長崎大司教区司祭叙階式にて、三井楽教会より43年ぶりの教区司祭・ミカエル中尾直通司祭が誕生しました。

叙階ミサは高見大司教司式のもと、コレジオ時代の指導者・溝部高松司教はじめ110名余りの司祭と1,100名を超える信徒が集い、新司祭誕生の喜びを分かち合いました。



家族と共に

中尾神父様は三井楽高崎の出身で、伝統漁法として有名な高崎・クロ追込漁の遠見番役とし

て現役で活躍中の実男さん十人兄弟の末弟として生をうけ、少年時代から司祭の道を志されました。男5人、女5人の兄弟姉妹のうち3人の姉は修道女となられ聖マリア病院にも御二人が女医として、そしてリハビリ介助に活躍しておられます。

男性4名も司祭の道を目指されましたが、末弟の直通師が神様の御恵みにより今回叙階の日を迎えられました。

御両親をはじめ御家族、三井楽小教区の皆様の喜びはいかばかりかと思えます。

尚、三井楽教会での初ミサは一週間後の2月28日取り行なわれ、沢山の下五島信徒が参集し祝福の御祈りを捧げました。

## 教皇大使 五島へ

駐日教皇庁大使アルベルト・ボッターリ・デ・カステッロ大司教を中心とする五島巡礼団が、2月8〜9日の両日、下五島各地を巡礼されました。

大使は、前日の7日に長崎西坂で日本26聖人記念ミサを司式された後、信仰と殉教の地五島へ来島されました。

入島後、最初に堂崎教会を訪問され、その後、信徒や平和のばら保育園のかわいい出迎えを受け神羊館で昼食をとられました。



浦頭の子ども達と

食卓にはアンナ会の皆さんが心を込めて用意した手作りの品が並び、25名余りの巡礼団も大感激のひとつきでした。

午後からは水ノ浦教会での御ミサ等、教会巡りで一日を終え、2日目は殉教の島、久賀島を訪れました。

牢屋の窄では、42名の殉教者

が命を懸けた信仰の力に思いをはせて記念ミサが捧げられました。

巡礼団の参加者にとり、今回の五島への旅は辺境の地で神様への豊かな愛を守り通した殉教者や、祈りの島五島での信仰に触れた実り豊かな旅となった事でしょう。

浦頭、堂崎教会にかけつけてくれた信徒の方々や平和のばらの園児達、昼食の準備に奔走されたアンナ会の皆さんに心より感謝申し上げます。

## ありがとう

- |     |       |     |   |
|-----|-------|-----|---|
| 福岡県 | 赤崎    | 岩光  | 様 |
| 倉敷市 | 鍋内    | 信之  | 様 |
| 松山町 | 外輪    | 力夫  | 様 |
| 黒島町 | Sr 赤尾 | 律子  | 様 |
| 長崎市 | 兵頭    | 京子  | 様 |
| 浜泊  | 江口    | 初子  | 様 |
| 浦頭  | 川口    | 栄   | 様 |
| 岡山県 | 鍋内    | 信之  | 様 |
| 浦頭  | 奥浦    | 修道院 | 様 |
| 松山町 | 赤本    | 将人  | 様 |

## 島田喜蔵神父

## ものがたり(Ⅳ)

長崎ウエスレヤン大学講師(非常勤)

加藤 久雄

島田喜蔵神学生は、久賀島に来て風俗や習慣が生まれ故郷とあまりにも異なることに驚いた。キリシタンの住む家は、どこにも壁がなく、床は素編みの竹が地に敷かれ、畳もないあばら家だった。食事や寝るときにだけ、そこに藁を敷いただけのものであった。村人の常食は、自生する「ととろ」という山イモに似た固い根茎、野百合、からす瓜などの根を突き砕き団子にして煮て食べていた。それでも村人は神学生のために、貴重なイモやムギを食わせてくれたのである。村人の頭は婦人にいたるまで、丸坊主になったり、禿げていた。その理由がある婦人が答えた。「久賀島のキリシタンは老若男女にいたるまで一人残らず捕えられ、狭い牢屋に押し込められ多くの死者を出した。生き残った人々もみな髪の手が

抜けて、男女の見分けがつかないほどになった。その間、役人の指図で、家財は奪われ、家も壊されてしまった。放免されたのはつい最近のことである。」島田神父は後に、このときの久賀島の信徒の信仰心について涙を流しながら語ることになる。久賀島に潜伏して約半年たった時のこと、昼食のために隠れ場の牛小屋から家に入ったところ、役人に発見されてしまった。役人は家主に神学生4人の監視を命じ、後ほど役所での吟味を考えていた。ほどなくして浜脇集落の老婆の機転と苦心の談判により、神学生たちは許された。ただし、役人の立会いの上、帆船で送り出すことが条件であった。すぐに島から出帆し、翌々日の夜、神学生たちは長崎近くの海岸に上陸、回り道し、用心しながら真夜中に大浦天主堂に入った。



浜脇教会墓地

奥浦のキリスト教遺産群(Ⅲ)

## 六方の浜 農業移住者

## (潜伏キリシタン)上陸地

長崎ウエスレヤン大学講師(非常勤)

加藤 久雄

五島藩では享保年間(一七一六〜三五五年)に、たびたび暴風や干ばつ、害虫被害による飢饉に襲われ多くの餓死者を出した。また、享保の末期から寛政元(一七八九)年にかけては天然痘も流行し、農民は減少し村が全滅するところさえあったといわれている。大村藩側の人口調整政策やキリシタン追放、五島藩側の農村再興と農業生産力増大において、両藩の目論みが一致し、一七九六(寛政八)年末に「百姓移住協定」を結んだ。一七九七(寛政九)年十一月十四日、大村藩主大村純尹は黒崎村、三重村の農民一〇八人を五島に送った。これが第一回の公式移住で大村藩家老片山波江が付き添ったといわれる。二ヶ月後の一七九八(寛政一〇)年一

月に北方の半里の六方の浜(奥浦村)に公式移住者は上陸した。この機会に、移住者は、福江島の平蔵、黒蔵、楠原などに入植した。以降、長期間にわたって計画的に移住が推進され、非公式移住を含めると、数千人の潜伏キリシタンを中心とした大村領の人々が五島へと渡ったのである。この福江島の平蔵とは、現在の平蔵集落を指すものではなく、平蔵集落周辺の未開拓地を指すと考えられる。現在、上陸地周辺は、埋め立てが進められ、当時の船着き場などがわからなくなっている。五島に新たなキリシタンの息吹を吹き込むことになるこの地、記録に残り解明されるべき『史跡』は、い



六方の浜に残る船着き場

# 初聖体 おめでとう

二月二十八日、三名の子供たちが初聖体のお恵みをいただきました。子供たちはイエス様をいただいた喜びで、その顔は輝いていました。

パンをしんぶさまがわたすとき、どきどきしました。ずっとまえからパンをほしかったので、はつせいたいするときもらえて、うれしかったです。

マテオ なべうち りく

ろうどくのときがいちばんドキドキしました。こんどからおねえさんたちといっしょに、おいのりできるので、うれしいです。ごせいたいをもらったときはうれしかったです。しんぶさま、おとうさんおかあさん、しすたーありがとうございます。これからもイエスさまといっしょにがんばります。よろしくおね

がいます。しんぶさまイエスさまのえがおがだいすきです。  
せしりあ はまさき さやか

ことば《お礼》をゆうときどきどきしました。ゆるしのひせ



きでドキドキしました。えんちゅうせんせいといっしょにした、いえすさまのおはなしがたのしかったです。ばんもおいしかったです。しすたあみなさんありがとうございます。これからなかよくあそぼうね。おにいちゃんおねえちゃん、いいおペンきょうおしえてね。

せしりあ しらはま みく

今日、三名の子供達が初聖体という大変大きなお恵みを頂きました。神父様、園長シスターをはじめ、多くの方々の御指導のもとこの日を迎える事が出来ました。心より感謝いたします。りく君、みくさん、さやかさん、今日は本当におめでとう。今日初めてイエス様の体である御聖体をいただいてうれしかったですか。その気持を忘れないでこれからも御聖体をいただきましょう。そして、これからもっとと神様やイエス様の事を勉強して、立派な神様の子供となれるよう一緒にがんばっていきましょう。

また、今日、共に喜びを分かち合って下さったみなさま、これからこの子供達を支え、温かい目差しで見守って下さいませようお願いします。

今日頂いたお恵みを神様に感謝しつつ、つたない言葉ではありませんがお礼の言葉とさせていただきます。

今日は本当にありがとうございます。ありがとうございました。

保護者代表 濱崎 毅

## ドミンゴス・中村長八神父様 のためにお祈り下さい

三月十日、ドミンゴス・中村長八神父様の追悼と小教区出身の神父様、ブラザー、シスター方の追悼ミサが行なわれました。中村長八神父様の宣教地だったブラジルでは、神父様の列福のための運動やお祈りがおこなわれています。私達小教区でも心を合わせて、毎日お祈りしています。

ドミンゴス・中村長八神父様の

取り次ぎを求める祈り  
神よ、あなたは限りない慈しみをもって数多くの恵みをあなたに与えてくださいました。彼は牧者、旅する宣教師として隣人への愛のため、遠い道程を厭わず、福音の奉仕と人々の回心と魂の救いのために何百の村落をめぐりました。彼の謙遜、清貧、労働の模範にあやかる望みを私たちのうちに燃え上げさせてください。信仰と希望と愛徳を増し、私たちが強く望んでいるお恵みを与えてくださいますように。アーメン



## 移動信徒の集い

今年、浦頭小教区出身となります。新卒者は九名、うち都合のついた七名の参加を頂き、3月21日に新卒者激励会が行われました。進路や将来への抱負を語って頂きました。本人のコメントと保護者の紹介から

私は福岡の大学で4年間勉強して教員となって長崎に戻ってくるのが夢です。浦頭教会の皆様、地域の方々、今まで暖かく見守って下さりありがとうございました。五島で皆様と過ごした日々を胸にこれから頑張ります。

本村 愛子

(義則・妙子)

私は福岡で理学療法士を目指して頑張っていました。これまで多くの方々の支えがあり大きく成長できたと思います。教会での教えや地域の支えが本当に私の力となりました。

私は五島が大好きなので、休みの時は帰ってきます。その時はよろしく願います。

川口 怜美

(孝章・真佐代)

親元を離れ生活するので、大学の勉強だけでなく、日々の生活もしっかりしたいと思います。特に食事は気をつけたいです。休みには帰って元気な顔を見せたいです。

濱邊 義幸

(真美子)

私は3年間、岐阜の学校で航空整備士を目指して頑張っています。岐阜には海がありませんが、私の心の中には五島の温かい海がいつでも広がっています。浦頭教会の星としてプレッシャーはありますが、父母とはこまめに連絡をとり、自分らしく過ごして夢をかなえます。

赤尾 章弥

(淳・美智代)

私は岡山の大学に行きサッカーボールと自分の夢を追ってきます。体育の教師になれるようはりきっていききたいです。

木口 和也

(秀憲・富士枝)

私は4年間大学で学んだことの仕事をしたいと思っています。留年しないように頑張っていて、とにかくみんなに心配かけさせないよう病気などには気をつけて、心も体もでっかくなって帰ってきたときにみんなを驚かせたいです。

鍋内 利輝

(誠次・由紀子)



私は子どもの気持を考えるとができる教師になります。広島で4年間、体に気をつけて充実した生活を過ごせたらいいですね。

川口 まどか

(護・秀子)

4月から五島をはなれ一人ぐらしです。とても不安ですが、がんばっていききたいと思います。大学ではしっかり勉強し大学院に進めるようがんばり、将来は自分に自信がもてる大人になりたいです。

川口 孝輔

(政俊・香)

入口 真奈美

(明宏・君子)



# おたより

「島のひかり」ありがとうございます  
ございました。編集長をはじめ、  
委員のみな様方のご苦勞に感謝  
いたします。

佐世保市 Sr赤尾 律子

主の平和

旧年中は大変お世話様に相な  
りまして、ありがとうございます  
ました。島のひかり編集部の皆  
様の御健康と御多幸を心よりお祈  
り申し上げます。感謝します。

長崎市 兵頭 京子

島のひかりで思い出多く、現  
在のいろいろなニュース本当に  
ありがとうございます。

福岡県古賀市 赤崎 岩光



## ふるまことだより

「学校環境が整備されました」  
奥浦小学校

3月4日に、学校環境緑化モ  
デル事業の完成式典が行われま  
した。すばらしい環境に恵まれ  
た奥浦小学校ですが、子どもた  
ちがさらに安全に楽しく過すこ  
とができるよう環境整備を目的  
としています。県緑化推進協会  
やローソンの協力を得て、桜の  
木も25本植樹しました。これか  
ら毎年、春の開花シーズンが楽  
しみです。  
五島振興局の協力により前田  
川周辺やかっぱ公園も整備され  
ていますので、是非おでかけく  
ださい。



## 初優勝

鍋内 秀喜

第6回市



民駅伝大会  
は、奥浦チー  
ムとして悲  
願の初優勝  
を飾ることが  
できました。  
今年はアン  
カーを任さ  
れ、1区か

ら5区まで区間賞・区間2位で、  
2位のチームに2分以上の差を  
つけてタスキを受け取った。練  
習不足もあり1kmほど過ぎた頃  
から足も上がらず息も乱れてき  
た。

アーケードには家族や親など  
も応援にきていたが、それも気  
づかないほどだった。やっとゴ  
ールした時はうれしいという気持  
よりも、抜かれずにホツとした  
気持が大きかった。

最後に、今年も沿道で応援く  
ださった皆さんに感謝!!

## 編集後記

江口 初子

私はマンガ本でキリスト教を  
知ったのは十歳の頃。神、イエ  
スより、それを信じ死をも喜び  
とし、あの世の楽園を拠所とし  
弾圧の世を生きた人々に憧れた。  
そして聖書をさし絵につられて  
観た。そしたら、ちょっと変な  
子が誕生した。結婚の時に亡母  
が、「良かったね」と。亡夫に  
出会うまでに、教会の中に二度  
入った。で、心地よい空間で寝  
入ってスケッチは失敗!! 導か  
れてかつての弾圧の地に。三十  
年が過ぎ一人になった。残った  
ものは、浜泊の家、神への信頼、  
人、夫・清晴の遺言「望むこと、  
望まれることに忠実であれ。神  
は共にいる」そして処に居る。  
上の孫が十歳になった。五島  
より光を届けよう、伝えよう過  
疎の地、いや聖地で教会家族の  
中で私は幸福だと。後は神のお  
心のまま……以上。新潟は南魚  
沼産の新前、江口の初ちゃん  
でした。  
旅立の春、「出会い」は不思議  
の国のパスポート。では、ス  
テキな旅を!!